

人類学演習 I 談話会

日時：5月7日（金） 16:30～18:00

場所：理学部2号館402号室

<講演者>

針原 伸二先生

<講演テーマ>

研究紹介（ミトコンドリアDNAハプロタイプからみた縄文人と弥生人 / WRN 遺伝子領域のハプロタイプ分析）

<要旨>

住 斉（すみ ひとし）筑波大学名誉教授とともに飛騨地方の集団のミトコンドリアDNAハプロタイプの分析を進めている。縄文人に特有のハプロタイプと弥生人に特有のハプロタイプの頻度から、飛騨地方を含めた各地の集団において、縄文人を祖先する人たちと弥生人を祖先とする人たちの比率を求めることができることを提唱し、検証を試みている。

WRN 遺伝子は早老症のひとつであるウェルナー症候群の原因遺伝子であることが知られ、遺伝子の変異と病気との関係も明らかにされつつある。WRN 遺伝子領域内のSNPs を調べ、ハプロタイプ分析を進めることで、日本人に多いとされるウェルナー症候群の由来などについて考察する予定である。

（午後5時20分までに終了予定）

（午後5時30分より「高圧ガス講習会」を開催します）

今後の予定

5月14日 河村先生

5月21日 青木先生

担当：神田眞男（植田研）